



vol.
709

The
Record

2018 december

12



THE

d.

Recy.

| MUSIC WEEK 開催報告

| IFPI「Music Consumer Insight Report 2018」を発表



I2

December

CONTENTS

1 Monthly News Digest

特報

3 2018年度インターネット廃盤セールを開催
2018年度レコード寄贈事業を実施

特集

4 MUSIC WEEK開催報告

特報

9 IFPI「Music Consumer Insight
Report 2018」を発表

11 私の一枚 season 2

12 Data File

13 Monthly Production Report

14 GOLD DISC

Monthly News Digest

10/16 Tuesday

IFPIアジア・パシフィック地域 理事会開催

10月16日、中国・北京のペニンシュラホテルにおいて、IFPI（国際レコード産業連盟）アジア・パシフィック地域理事会が開催された。



同地域理事会は、アジア・パシフィック地域のIFPI各国支部の参加により毎年1回開催される会議である。会議には、フランス・ムーアIFPI CEO、ノーマン・アブドール・ハリムIFPIアジア・パシフィック地域理事会議長（マレーシアRKUミュージック代表）、KTアンIFPIアジア地域事務所代表、メジャーレコード会社のアジア地域代表者、および10カ国・地域のIFPI支部代表者ら約30名が参加し、当協会からはオブザーバーとして著作権保護・促進センター（CPPC）の末永センター長が出席した。

会議では、冒頭、任期満了にともなう地域理事会議長の選任が行われ、ワナーミュージックアジア代表のサイモン・ロブソン氏が新議長となった。続いて行

われた各テーマの検討では、IFPIロンドン本部が全世界で取り組んでいる重点課題、グローバルおよびアジア地域の上半期マーケット状況、IFPI消費者動向調査等に関する説明があった。各国の代表からは、「法制度・法改正およびロビイングの状況」、「サイトブロッキングを含む違法対策に係る法的問題」などの重点課題について説明があり、それぞれの課題について意見交換が行われた。

10/16 Tuesday

明治学院大学で 楠本部長が講義

10月16日、神奈川県横浜市にある明治学院大学横浜キャンパスにおいて、当協会著作権・契約部楠本部長が「レコードと著作権」と題した講義を行った。今回の講義が行われたのは、経済学部経営学科1年を対象に開講されている「ビジネスのための法律2」（担当：飯田浩司教授）の中の1コマで、約200名が出席した。同講座はビジネスのために知っておくべき法律知識を身につけることを目的に通年で開講されているもので、10月からの秋学期は特に知的財産権に重きを置いて実施されていることから、本講義が実現した。

講義では、初めにレコード産業の変遷やビジネスの仕組み、音楽ができるまでの工程、日本と海外の音楽市場についての説明があった。続いて、音楽著作権・著作隣接権の集中管理の概要、当協



このエルマークは、レコード会社・映像製作会社が提供するコンテンツを示す一般社団法人 日本レコード協会の登録商標です

会の行う指定管理団体としての業務や、法的措置、技術的対策等の違法対策業務について、具体的な事例を交えながら講義は進み、現在対象国で手続きが進められているTPPイレブン協定に基づく著作権法改正事項についても解説を行った。

10/19~21 Friday Sunday

「2018楽器フェア」開催

10月19日から21日の3日間、東京都江東区の東京ビッグサイトにて、日本楽器フェア協会主催、一般社団法人 全国楽器協会共催、当協会らの協賛による「2018楽器フェア」が開催された。

「楽器フェア」は、国内外の一流ブランドの楽器や最新技術を駆使した新製品、およびその関連商品の全てを一堂に集結し、楽器の最新情報と音楽情報を提供すべく隔年で開催されている“世界最大のコンシューマー向け楽器ショー”。憧れの名器から新製品まで、実際の楽器を見るだけにとどまらず、楽器の試奏、試聴、そしてその場で購入することも可能であり、来場者は音楽の喜び、楽しさを体感できるイベントとなっている。

今年は楽器フェア50周年の記念イベントとなっており、レセプションホールでは「楽器フェア50周年記念スペシャルコンサート」が開催されたほか、オカリナ、ハーモニカから管楽器、ドラムなど、様々な楽器をミュージシャンが教える「楽器体験広場」といった新たな企画が設けられた。また、初日の19日には、BtoBの要素を取り入れた「楽器フェア商談会」やビジネスセミナーの実施に加え、展示エリアオープンに伴うオープニングセレモニーが執り行われるなど、華々しい開催となった。なお、オフィシャルサイトでは、ステージイベント等のアーカイブ動画の視聴が可能となっている。

▶ <http://musicfair.jp/2018>



10/25 Thursday

WIPO東京特別研修で 楠本部長が講義

10月25日、東京都中野区にある公益社団法人著作権情報センター（CRIC）会議室にて、世界知的所有権機関（WIPO）が主催し10月22日から11月2日の期間に開催された「Special Workshop on the Protection of Copyright and Related Rights, in Tokyo 2018」において、当協会は講師を派遣し、「Rights of Producers of Phonograms」をテーマに講義を行った。

この研修は、アジア各国の著作権当局職員や著作権侵害の取締機関職員等を対象として、日本の著作権・著作隣接権制度に関する研修を行うことにより、当該国の著作権・著作隣接権の保護制度充実およびエンフォースメントのための取り組みの強化支援を目的に毎年

開催されている。

今年は、ラオス、モルジブ、パキスタン、ソロモン諸島、タイの5か国から10名の研修員が来日し、文化庁、日本音楽著作権協会（JASRAC）他、各著作権管理団体やコンテンツ企業の著作権担当者等が講義を担当した。当協会からは、楠本著作権・契約部部長が出席し、日本のレコード産業の歴史と産業構造、国内外のレコード市場規模およびその現状、レコードと著作権、当協会が行う指定管理団体としての業務、集中管理事業、違法な音楽配信の実態、当協会が行う違法対策業務（法的措置・技術的対策・刑事・民事）、著作権法上の課題等について、具体的な事例を交えながら説明を行った。

参加した研修生からは、放送二次使用料や集中管理事業に関する使用料決定のプロセスや、違法対策に費やす人員やコスト、著作権広報啓発活動に係る取り組みの詳細とその効果等について、数多くの質問が寄せられた。

Coming Next Artists シーズン2情報

音楽ナタリー内では、新たに以下の特集記事が公開中です。
是非ご覧ください。

キュレーター対談

edda
（ビクターエンタテインメント）
キュレーター：沙田瑞紀

ディスクレビュー

BiS1st / BiS2nd
「アゲントザベイン」
（日本クラウン）
レビューア：ギョウゾウ



Coming Next Artists シーズン2
（音楽ナタリー内）

<https://natalie.mu/music/pp/comingnextartists02>

2018年度インターネット廃盤セールを開催

当協会会員社は、本年度もインターネット販売による「2019年新春レコードファン感謝祭～廃盤CDディスカウントセール」を開催する。

▼廃盤セールサイトURL

<https://www.sonymusicshop.jp/>



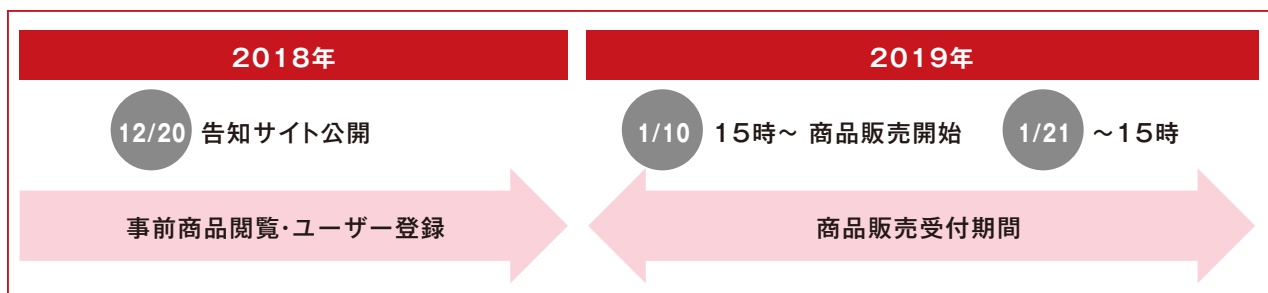
廃盤CD
ディスカウントセール
最大70%OFF

開催スケジュール

2018年	
12月20日	告知サイト公開 事前商品閲覧・ユーザー登録開始
2019年	
1月10日 15時	商品販売開始
1月21日 15時	商品販売受付終了

開催概要

主 催	： 一般社団法人日本レコード協会会員社
協 賛	： 一般社団法人日本レコード協会
運 営	： 株式会社ソニー・ミュージックマーケティング Sony Music Shop
出 品 予 定	： CD、DVD
出 品 予 定 数	： 約900タイトル、約11,000枚(2018年9月現在)
販 売 価 格	： 廃盤は定価の70%OFF その他、輸入盤、時限再販期間経過商品等を割引特価で販売



2018年度レコード寄贈事業を実施

当協会は、社会福祉法人全国社会福祉協議会および日本図書館協会協力のもと、2018年度「レコード寄贈事業」を実施し、10月30日から11月4日まで実施した「MUSIC WEEK」に合わせ、全国379ヶ所の施設へ8,152枚の音楽CDを寄贈した。

当事業は、音楽によって明るい生活を送られることを願い全国の福祉厚生、療養施設などへ音楽CDを寄贈するもので、1963年より継続、今年度が第56回目の実施となる。2011年度からは、音楽を通じた復興支援を願い、東日本大震災被災地などの臨時災害放送局や東北3県の図書館に対しても寄贈しており、今年度は、9月6日に発生した北海道胆振東部地震被災地に向けた支援として、北海道勇払郡厚真町に9月20日に開局した臨時災害放送局「あつまさいがいエフエム」、および北海道勇払郡安平町のエリア放送「あびらチャンネル」へも音楽CDの寄贈を実施した。

寄贈先関係者の方々からのコメント

・地震によって多くの音楽CDが損傷してしまいました。今回のCDで、災害支援情報の提供にとどまらず、放送によって町民が好きな歌を楽しむことで元気を取り戻すきっかけとしたいです。

・懐メロからアニソンなどバラエティ豊富なCDを頂き、リクエストに応えられる地盤が出来つつあります。今回のCDを有効に活用します。

2018年度「レコード寄贈事業」寄贈先

全国の身体障害者施設	286ヶ所
(東日本大震災被災地) 図書館	91ヶ所
(北海道胆振東部地震) 臨時災害放送局等	2ヶ所
計	379ヶ所

MUSIC WEEK
開催報告

当協会らが運営するMUSIC WEEK実行委員会は、音楽業界全体の活性化を目的とした「MUSIC WEEK」を10月30日から11月4日の6日間にわたって開催した。今号では、フラッグシップイベントとなった「SHIBUYA MUSIC WEEK」から、メイン会場「渋谷ストリームホール」で実施されたイベントを中心に、11月3日「レコードの日」に渋谷MAGNET by SHIBUYA109にて開催された「レコード祭」やタワーレコード渋谷店で実施されたMEG-CDキャンペーンを紹介する。

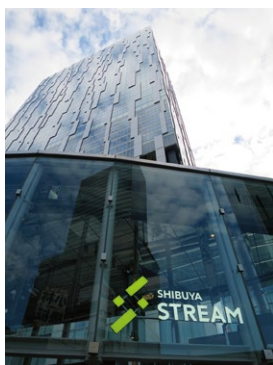


SHIBUYA MUSIC WEEK概要

期 間：2018年10月30日(火)～11月4日(日) メイン会場：渋谷ストリームホール
主 催：MUSIC WEEK実行委員会
協力店舗：タワーレコード渋谷店/HMV&BOOKS SHIBUYA/HMV record shop 渋谷/
SHIBUYA TSUTAYA
協 力：レコード会社各社/東洋化成株式会社/株式会社ナターシャ
タワーレコード株式会社/株式会社ローソンエンタテインメント
株式会社TSUTAYA/株式会社クオラス
企画・運営：オルファス

会場の様子

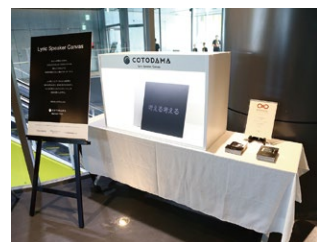
メイン会場となった「渋谷ストリームホール」は今年9月13日にオープンしたばかり。同ホールを構える「渋谷ストリーム」は飲食店やホテルのほかに、渋谷川に面する広場も誕生するなど、多くの人々が集まる空間となっている。



協賛・協力ブース



シタテル株式会社
衣服生産のオンラインサービス「Sitateru」。物販特典のトートバッグ、スタッフTシャツの制作を実施。



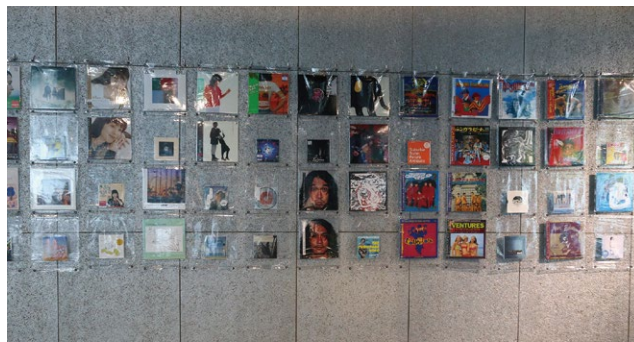
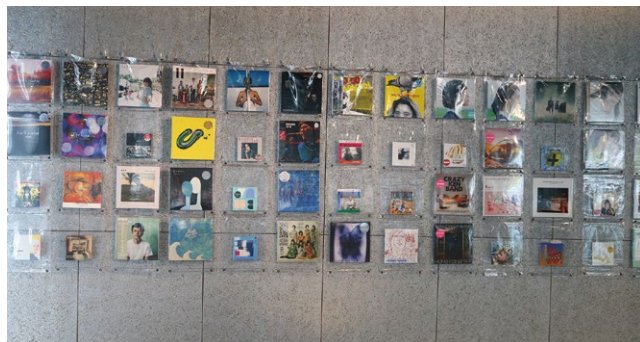
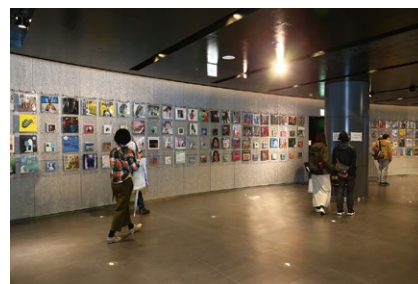
リリックスピーカー/COTODAMA社
歌詞を自動で美しくビジュアル化する技術「Lyric Sync Technology」が特徴のスピーカーを展示。



Aki's Guitar Shopブース
東京・恵比寿に店を構える勝見明氏によるギターのディスプレイ、試奏体験が行われた。ミニステージでの演奏も実施。

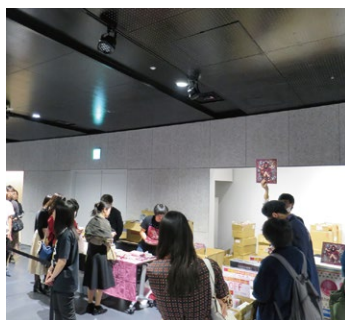
Music Jacket Gallery

11月3日「レコードの日」に発売されたアナログ盤ジャケットがずらりと並べられ、来場者は一堂に会した個性豊かなデザインを熱心に眺めていた。全153点の中には、4日の「Music Festival」でピックアップした「GO! GO! ARAGAIN」も帯付きで展示された。



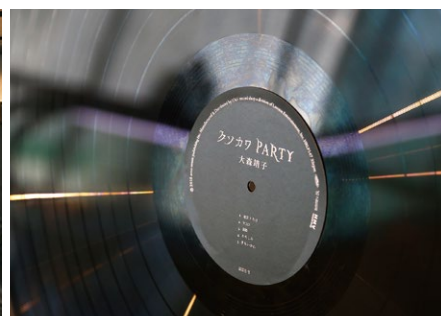
HMV廃盤CD ディスカウントセール

例年「新春レコードファン感謝祭」と題し、オンラインショップにて年始に実施している廃盤セールを、18年ぶりに会場でのリアルイベントとして開催。訪れた人々が一枚ずつ掘り出し物を手に取る様子が見られた。「Music Festival」出演アーティスト関連の物販ブースも併設され、開演前・終演後も賑わいをみせていた。



フォトスポット

Music Festivalに関連する2タイトルが180cm×180cmという特大サイズの超デカジャケットで登場したほか、実際に音の再生が可能というデカアナログレコードも展示され、大迫力の存在感を放っていた。



ミニステージ

4Fエントランスロビーに特設されたミニステージイベントには、両日多くのファンが集まった。

11/3
(土・祝)

そのうちやる音ミニライブ



アコースティックスタイルで全6曲を演奏し、フロアにキュートな歌声を響かせた。新曲「呼吸」のアコースティックバージョンの初披露も!

Do You Know 眉村ちあき?



織永ざわ氏のMCでトークショー&ミニライブを開催。クイズコーナーあり、即興ソングありと、ファンと近い距離間で盛り上げていた。

11/4
(日)

Thinking Dogs ミニライブ&特典会



久しぶりというアコースティックライブで、映画『あの頃、君を追いかけた』の主題歌『言えなかったこと』を含む全6曲を披露。ライブ後の特典会も大いに賑わった。

「レコードの日」×「GO! GO! ARAGAIN」 リリーストークショー



パイドパイパーハウス・長門芳郎氏、SUBURBIA 橋本徹氏、東洋化成・本根誠氏が、各自の思い出のある楽曲を流しながらトークを展開する貴重な時間となった。

DJブース

常設されたDJブースでは、森田潤とDJ Cellyによるパフォーマンスが随時行われており、来場者が終日音楽と触れ合うことができる空間を創り上げていた。プレイの合間には森田潤によるDJ教室も開催され、体験する初心者が当日持ち寄ったお気に入りのCDを使いながら様々なテクニックを伝授していた。



森田潤



森田潤によるDJ教室の様子



DJ Celly

Music Festival

渋谷ストリームホール6F・ライブホールでは、11月3日と4日の2日間、「Music Festival」と題したライブあり、トークありのスペシャルイベントを開催。札止めとなったチケットを手にした来場者は、この日限りのアーティストたちのパフォーマンスに魅了されていた。

11/3 (土・祝)

LIVE ライブナタリー presents 「Shibuya Music Meeting」



眉村ちあき

- | | |
|-------------|--------------|
| M1: 荻窪選手権 | M5: ピッコロ虫 |
| M2: ブラボー | M6: 本気のラブソング |
| M3: ナックルセンス | M7: メソ・ポタ・ミア |
| M4: リアル不協和音 | |



MONO NO AWARE

- | | |
|----------------|---------------|
| M1: 機関銃を撃たせないで | M4: 轟々雷音 |
| M2: マンマミーヤ! | M5: イワンコッチャナイ |
| M3: 東京 | |



大森靖子

- | | |
|--|-----------------|
| M1: CHE.R.R.Y (オリジナル: YUI) | M7: GIRL'S GIRL |
| M2: 君と映画 | M8: 絶対彼女 |
| M3: さっちゃんのセクシーカレー | M9: お茶碗 |
| M4: LOW HAPPYENDROLL
-- 少女のままで死ぬ -- | M10: ハンドメイドホーム |
| M5: きもいかわ | EC1: コーヒータイム |
| M6: 死神 | EC2: 非国民的ヒーロー |
| | EC3: キラキラ |

レコード祭

同日、MAGNET by SHIBUYA 109にて、東洋化成が主催するアナログレコードの祭典「レコードの日」と「渋谷ゲキ」のコラボレーションイベント「レコード祭」が開催された。J-WAVEの公開生放送や、レコードの日にアナログをリリースする多彩なアーティストなどが出演するトークショーが多数実施されるなど、大いに盛り上がった。



MEG-CD キャンペーン

「SHIBUYA MUSIC WEEK」期間中、タワーレコード渋谷店においてMEG-CDの10% OFFセールや「おニャン子クラブ」関連108タイトルの先行再販販売が実施された。

11/4(日)

LIVE 「レコードの日」×「GO! GO! ARAGAIN」リリースパーティ



キイチビール&ザ・ホーリーティーツ



Spoonful of Lovin'



bjons



OLD DAYS TAILOR



秘密のミーニーズ



KEEPON



やなぎざわまちこ



ayU tokiO



柴田聡子 in FIRE

参加アーティストコメント

Spoonful of Lovin'

「このようなイベントに出演できたのは、普段からレコードを聴き続けてきた結果だと思うのでとても嬉しいです。今後もこのイベントが残っていくといいなと思います」

bjons

「リアルタイムで大瀧詠一さんを聴いてきたであろうお客さんが多くて緊張しましたが、皆さん暖かくとても楽しくライブができました!」

OLD DAYS TAILOR

「レコードの発売に併せてイベントを開催するのはとても良い試みだと思いました。また、海外のようにCDとアナログレコードの両方を発売するアーティストがもっと増えて欲しいです」

秘密のミーニーズ

「レコード好きがストリームホールのような開かれた場所に集まるイベントがこれまであまりなかったと思います。このような間口の広いレコードのイベントがもっと増えていけばいいなと思いました」

KEEPON

「今回の参加アーティストは、インディーズで活動しているアーティストが中心なので、アーティストのことを知らないお客さんも多かったと思います。そんな中、大瀧詠一さんのカバー音源のみを頼りにライブ会場に足を運んでくれたお客さん達のワクワク感が感じられてとても良いイベントだったと思います」

やなぎざわまちこ

「お客さんからも演者からも大瀧詠一さんへの愛が伝わってきました。このようなライブに参加できて良かったです」

ayU tokiO

「緊張しましたが楽しくできました。今後もこのようなイベントを続けていって欲しいです」

柴田聡子 in FIRE

「色々な大瀧詠一さんのカバーを見られてとても楽しかったです!」



▲長門芳郎ナビゲートのもと橋本徹によるDJタイムや野宮真貴とのトークセッションも交えて進行



▲最後は全出演者がステージに集まり幕を閉じた

IFPI「Music Consumer Insight Report 2018」を発表

IFPI(国際レコード産業連盟)は、イギリス時間10月9日、消費者調査「Music Consumer Insight Report 2018」を公表した。本調査は、IFPIが毎年実施しているもので、IFPIと調査会社AudienceNetにより、音楽サービスの利用実態や利用意向を探ることを目的に、世界18カ国のインターネットユーザーを対象に行われたもので、今号では抜粋版を紹介する。

2018年調査概要：音楽は日々の生活に欠かせないもの

- 平均して週に17.8時間、1日に2.5時間、音楽を楽しんでいる
- 86%がオンデマンド型ストリーミングサービスで音楽を聴いている
- 16歳～24歳の50%が、音楽を聴く方法を1つ選ぶとしたら音楽ストリーミングサービスを選択する
- 75%が音楽を聴くためにスマートフォンを用いる
- 38%が著作権を侵害する方法で音楽を入手している

若年層は音楽と密接な関係にある

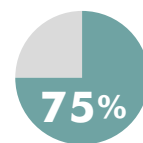
16～24歳の若年層には、特に音楽との強い結びつきがみられる。場面別で音楽を聴く割合を調査すると、若年層は全年齢平均を上回っていることが分かる。



音楽とテクノロジーの関わり

スマートフォンからAIスピーカーまで、デバイスから世界中とつながることで音楽体験は拡大する。レコード会社は何百もの音楽配信サービスにライセンスすることで、ユーザーはどこにいても自分の好きな音楽にアクセスすることが可能となる。音楽聴取時間全体のうち、27%はモバイル端末を利用しており、16～24歳に「もし音楽聴取のために1つだけ利用できるとしたら？」と質問を投げると、58%がスマートフォンを利用すると選択した。

●スマートフォン利用における音楽聴取の割合 (全年齢平均)



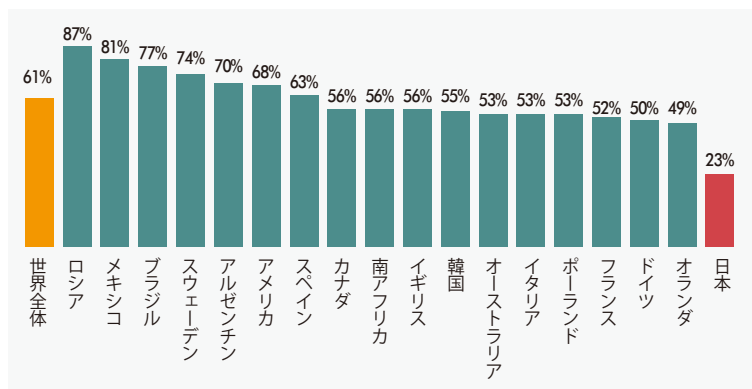
※16～24歳の若年層ではその割合は94%に跳ね上がる

オンデマンド型ストリーミングサービスが世界的に音楽市場を牽引

ライセンスされたオンデマンド型ストリーミングサービスは、世界中で定着している。86%のユーザーは、オーディオまたはビデオを問わずオンデマンド型ストリーミングサービスで音楽を楽しんでおり、特に16～24歳の57%が有料オーディオストリーミングサービスを利用している。

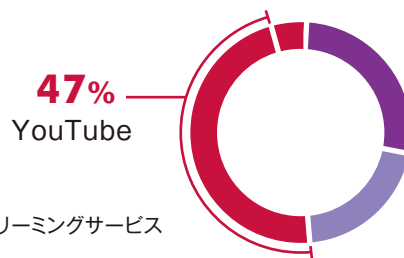
●オーディオストリーミングサービスの利用率

最もサービスが根付いているのはロシアで、最も利用率が低いのは日本となった。なお、本データにはビデオストリーミングサービスは含まれない。



●ビデオストリーミングサービスが占める割合

オンデマンド型ストリーミングサービスの半数以上(52%)はビデオストリーミングサービスが占める。47%はYouTubeによる音楽聴取。



- 52% ビデオストリーミングサービス
- 28% 有料オーディオストリーミングサービス
- 20% 無料オーディオストリーミングサービス

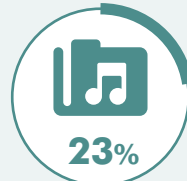
著作権侵害は依然として重大な問題

音楽に投資・創作する人々に対価を払わず、合法的サービスの妨げとなるストリーミングリッピングサイトに対し、全世界的にレコード会社は対策を講じていく。いくつか対策の成功事例はあるものの、問題は未解決のままである。

著作権侵害ではストリーミングリッピング(※)によるものが最も多い



ストリーミングリッピングによるダウンロード



サイバーロッカー型またはP2Pサービスを利用したダウンロード

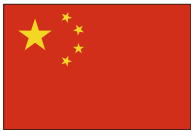


検索エンジンで著作権侵害コンテンツを検索

※ストリーミングリッピング…ストリーミングのみで提供されている映像および音楽を、その意図に反して端末への複製を可能にする無許可サービス。

FOCUS ON

近年、市場拡大が続く中国とインドについては、今回の調査実施地域である18カ国には含まれていないが、別途集計がなされた。



中国
CHINA

- 96%のユーザーがライセンスされた音楽を楽しんでいる
- 89%のユーザーがライセンスされたオーディオストリーミングサービスを利用している
- 音楽聴取平均は週に15.4時間

●音楽を楽しむために使用されるアプリとその利用率

WeChat 65%

QQ 64%

Weibo 62%

<参考> 音楽について話すのに使用されるソーシャルネットワークサービス(世界全体)

- WhatsApp…35%
- Instagram…23%
- Facebook…30%



インド
INDIA

- 96%のユーザーがライセンスされた音楽を楽しんでいる
- 96%がスマートフォンを利用して音楽を楽しんでおり、世界最高の比率となっている
- 95%がオンデマンドストリーミングサービスを利用している

●インドで好まれる音楽ジャンル

- 1 Bollywood new
- 2 Bollywood old
- 3 Indian classical music
- 4 Pop
- 5 Rock

<参考> 文化的影響を受け、自国ジャンルの音楽を楽しむ国は多い



日本 66%
JAPAN



韓国 62%
KOREA



フランス 69%
FRANCE



ポーランド 28%
POLAND

調査概要

実施地域	世界18カ国 (アメリカ、カナダ、イギリス、フランス、ドイツ、スペイン、イタリア、オランダ、スウェーデン、ポーランド、ロシア、オーストラリア、日本、韓国、ブラジル、アルゼンチン、メキシコ、南アフリカ)
対象	16~64歳のインターネットユーザー
サンプル数	各国1,000サンプル(ブラジルは2,000サンプル)、合計19,000サンプル
実施期間	2018年5月~6月

▼IFPI releases 2018 music consumer insight report (full report)

<https://www.ifpi.org/downloads/Music-Consumer-Insight-Report-2018.pdf>

私わたしの一枚いちまい season2



井上俊次

一般社団法人日本レコード協会 理事
(株式会社バンダイナムコアーツ 代表取締役副社長)



「ROMANTIC」 AIRPLAY

私の一枚、プロとしてバンド活動を始めて4年目の1980年に聴いたアルバム、AIRPLAYの「ROMANTIC」です。

1977年にLAZYというバンドのキーボーディストとしてプロデビューしました。

デビュー当時の僕たちは都倉俊一さん、馬飼野康二さん、森雪之丞さん、なかにし礼さん、松任谷由実さんといった超売れっ子の先生方に参加いただいた楽曲でシングル盤をリリースしていたアイドルバンドでした。

元々アマチュアの頃は中学、高校の同級生バンドで、当時流行っていたDEEP PURPLEなどの洋楽コピーバンドでした。

この大阪の高校生バンドが、かまやつひろしさんにスカウトしていただきプロの世界へ。

デビューから4年目の1980年は、メンバーも20歳になり少し音楽界(芸能界)にも慣れ、自分たちで楽曲制作をし、サウンドスタイルも元々目指していたハードロックサウンドへと変化していった頃でした。

所属レコード会社はRVC/RCAレコード。デビュー当時から、レコーディングで社内のスタジオや事務所に行く

と、僕たちの担当ではなかったのですが、山下達郎さんや桑名正博さんのプロデュースをされていた小杉理宇造さん(現在ジャニーズ・エンタテイメント代表取締役社長)から「これを聞いて勉強しなさいね」と、毎回洋楽のサンプル版をいただいていた。

その中に私の一枚、AIRPLAY「ROMANTIC」がありました。

その後バンドはハードロック路線が一段と強まり、担当ディレクターや事務所の人たちもスタジオに来なくなり、いわゆる野放し状態で「宇宙船地球号」というアルバムを制作しました。

アルバムを引っさげてのツアーが終わる頃、メンバー間で、もっとハードなサウンドのバンドにしたい! ソロで歌ってみたい!…

20歳の僕らは新しい音楽活動を行うため解散へと進んでいきました。

その頃私が目指していたサウンドは、AIRPLAY「ROMANTIC」に詰め込まれていました。

スタジオミュージシャンとして、サウンドプロデューサーとして活躍していたデイヴィッド・フォスターとジェイ・グレイドンがコンビを組んで制作したアルバム。ハートフルなメロディライン、ロックサウンドの中でのキーボードの役割、楽器やハーモニーのアンサンプル。目指したい音楽はこれでした。

解散後の新しいバンドは中々軌道には乗りませんでした。必死になって音作りをしていた20~30歳代は今思えば楽しい日々でした。

50歳を過ぎて小杉さんと再会出来たり、デイヴィッド・フォスターと仕事が出来たり、音楽業界で仕事を続けていて良かったと心からそう思います。

Data File

2018年第3四半期 音楽配信売上実績

2018年第3四半期は、数量で前年同期比 87%の3,215万1,000ダウンロード、金額で前年同期比108%の157億1,300万円となった。

この結果、2018年度第3四半期までの累計では、数量で前年比91%の1億179万1,000ダウンロード、金額で前年比112%の478億2,300万円となった。

(数量:千回,金額:百万円)

	形態	2018年第3四半期(7月~9月) 累計				
		数量	前年同期比	金額	前年同期比	
	Master ringtones	776	74%	79	77%	
	Ringback tones	5,356	70%	364	71%	
ダウンロード	シングルトラック	PC・スマートフォン	23,725	94%	3,893	94%
		フィーチャーフォン	132	51%	32	49%
		小計	23,857	93%	3,925	93%
	アルバム	PC・スマートフォン	1,951	86%	2,188	87%
		フィーチャーフォン	0	-	0	-
		小計	1,951	86%	2,188	87%
	音楽ビデオ	PC・スマートフォン	207	86%	62	89%
		フィーチャーフォン	5	61%	2	61%
		小計	212	85%	64	88%
		ダウンロード計	26,020	93%	6,177	91%
ストリーミング	サブスクリプション/音楽			7,613	125%	
	サブスクリプション/音楽ビデオ			124	92%	
	広告収入/音楽			75	346%	
	広告収入/音楽ビデオ			744	155%	
	ストリーミング計			8,557	127%	
	その他			536	134%	
	合計	32,151	87%	15,713	108%	

(数量:千回,金額:百万円)

	形態	2018年1月~2018年9月 累計				
		数量	前年同期比	金額	前年同期比	
	Master ringtones	2,581	77%	265	79%	
	Ringback tones	17,965	76%	1,223	76%	
ダウンロード	シングルトラック	PC・スマートフォン	73,899	98%	12,046	97%
		フィーチャーフォン	480	49%	120	49%
		小計	74,379	97%	12,166	96%
	アルバム	PC・スマートフォン	6,198	87%	7,150	92%
		フィーチャーフォン	0	-	0	-
		小計	6,198	87%	7,150	92%
	音楽ビデオ	PC・スマートフォン	653	80%	193	84%
		フィーチャーフォン	16	57%	5	60%
		小計	669	79%	198	84%
		ダウンロード計	81,245	96%	19,514	94%
ストリーミング	サブスクリプション/音楽			22,590	129%	
	サブスクリプション/音楽ビデオ			401	92%	
	広告収入/音楽			224	450%	
	広告収入/音楽ビデオ			2,104	164%	
	ストリーミング計			25,319	131%	
	その他			1,501	158%	
	合計	101,791	91%	47,823	112%	

備考 1. 本統計は、会員会社の実績をとりまとめたもの。
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。

注: 数量...ダウンロード回数

Monthly Production Report 2018年10月度レコード生産実績



10月度の音楽ソフト(オーディオレコード・音楽ビデオの合計)の生産実績は、数量で前年同月比64%の1,395万枚・巻、金額で同74%の164億円となった。

内訳は、オーディオレコードが、数量で前年同月比65%の1,092万枚・巻、金額で同64%の118億円。音楽ビデオが、数量で前年同月比60%の302万枚・巻、金額で同124%の46億円となっている。

オーディオレコード

(数量:千枚・巻/金額:百万円)

	10月実績						2018年1月~2018年10月 累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
8cmCD シングル	邦	2	0	57%	2	0	63%	36	0	119%	74	0	370%
	洋	0	0	0%	0	0	-	0	0	0%	0	0	0%
	計	2	0	48%	2	0	63%	36	0	108%	74	0	351%
12cmCD シングル	邦	4,771	44	116%	4,104	35	119%	41,489	37	103%	33,805	26	104%
	洋	1	0	4%	1	0	8%	32	0	12%	31	0	13%
	計	4,772	44	115%	4,105	35	118%	41,521	37	102%	33,835	26	103%
シングル 計	邦	4,773	44	116%	4,106	35	119%	41,525	37	103%	33,879	26	104%
	洋	1	0	4%	1	0	8%	32	0	12%	31	0	13%
	計	4,775	44	115%	4,107	35	118%	41,556	37	102%	33,910	26	103%
12cmCD アルバム	邦	4,605	42	43%	5,990	51	47%	58,639	52	87%	79,570	62	90%
	洋	1,296	12	73%	1,299	11	70%	11,818	10	85%	12,472	10	90%
	計	5,901	54	47%	7,289	62	50%	70,458	62	86%	92,042	72	90%
CD計	邦	9,379	86	63%	10,096	85	62%	100,164	88	93%	113,449	88	93%
	洋	1,297	12	72%	1,300	11	70%	11,850	10	84%	12,503	10	89%
	計	10,676	98	64%	11,395	96	63%	112,014	99	92%	125,952	98	93%
アナログ ディスク	邦	109	1	283%	220	2	272%	461	0	105%	913	1	120%
	洋	78	1	121%	121	1	123%	462	0	129%	817	1	133%
	計	186	2	182%	341	3	190%	923	1	116%	1,730	1	126%
カセット テープ	邦	21	0	61%	22	0	74%	382	0	82%	327	0	82%
	洋	0	0	454%	0	0	618%	3	0	52%	3	0	68%
	計	21	0	62%	23	0	75%	384	0	82%	330	0	82%
その他	邦	9	0	115%	10	0	99%	97	0	89%	158	0	92%
	洋	29	0	186%	62	1	196%	247	0	115%	503	0	119%
	計	38	0	163%	72	1	172%	344	0	106%	660	1	111%
合計	邦	9,517	87	63%	10,349	87	63%	101,104	89	93%	114,848	89	94%
	洋	1,405	13	74%	1,483	13	75%	12,562	11	85%	13,825	11	91%
	計	10,921	100	65%	11,832	100	64%	113,666	100	92%	128,673	100	93%

音楽ビデオ

	10月実績						2018年1月~2018年10月 累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
DVD	邦	2,453	81	58%	1,980	43	85%	34,781	75	111%	37,068	55	129%
	洋	43	1	54%	42	1	45%	364	1	65%	397	1	45%
	計	2,495	83	58%	2,022	44	84%	35,146	76	110%	37,465	56	126%
ブルーレイ ディスク	邦	502	17	76%	2,498	55	205%	10,989	24	169%	29,331	44	178%
	洋	26	1	148%	62	1	108%	164	0	89%	319	0	55%
	計	528	17	78%	2,560	56	201%	11,153	24	167%	29,650	44	173%
テープ・その他	邦	0	0	0%	0	0	0%	0	0	29%	1	0	28%
	洋	2,955	98	60%	4,478	98	127%	45,771	99	121%	66,400	99	147%
	計	68	2	71%	104	2	69%	528	1	71%	716	1	49%
合計	邦	2,955	98	60%	4,478	98	127%	45,771	99	121%	66,400	99	147%
	洋	68	2	71%	104	2	69%	528	1	71%	716	1	49%
	計	3,023	100	60%	4,582	100	124%	46,299	100	120%	67,115	100	144%

音楽ソフト(オーディオ/音楽ビデオ合計)

	10月実績						2018年1月~2018年10月 累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
オーディオレコード計	10,921	78	65%	11,832	72	64%	113,666	71	92%	128,673	66	93%	
音楽ビデオ計	3,023	22	60%	4,582	28	124%	46,299	29	120%	67,115	34	144%	
合計	邦	12,472	89	63%	14,827	90	74%	146,874	92	100%	181,247	93	108%
	洋	1,473	11	74%	1,587	10	74%	13,091	8	84%	14,541	7	88%
	計	13,945	100	64%	16,414	100	74%	159,965	100	99%	195,788	100	106%

ビデオレコード(含音楽ビデオ)

	10月実績						2018年1月~2018年10月 累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD	4,746	79	75%	4,717	49	87%	60,825	75	97%	65,867	53	100%
ブルーレイディスク	1,291	21	72%	4,953	51	107%	20,651	25	110%	59,362	47	107%
テープ・その他	0	0	0%	0	0	0%	0	0	31%	1	0	29%
合計	6,037	100	74%	9,670	100	96%	81,477	100	100%	125,230	100	103%

オーディオ/ビデオレコード合計

	10月実績						2018年1月~2018年10月 累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオレコード計	10,921	64	65%	11,832	55	64%	113,666	58	92%	128,673	51	93%
ビデオレコード計	6,037	36	74%	9,670	45	96%	81,477	42	100%	125,230	49	103%
合計	16,959	100	68%	21,501	100	75%	195,143	100	95%	253,903	100	98%

備考 1.本統計は、当協会会員社の集計である。会員社が受託した非会員社からの販売受託分を含む。
 2.単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。
 3.オーディオレコードのその他はSACD、DVDオーディオ、DVDミュージック、MDの合計。

音楽ソフト

シングル | 邦楽

認定基準	アーティスト	タイトル	リリース日	レーベル
ダブル・プラチナ	King & Prince	Memorial	2018.10.10	ユニバーサル ミュージック
プラチナ	嵐	君のうた	2018.10.24	ジェイ・ストーム
	NMB48	僕だって泣いちゃうよ	2018.10.17	よしもとミュージックエンタテインメント(laugh out loud! records)
	米津玄師	Flamingo / TEENAGE RIOT	2018.10.31	ソニー・ミュージックレーベルズ(ソニー・ミュージックレコーズ)
ゴールド	=LOVE	Want you! Want you!	2018.10.17	ソニー・ミュージックレーベルズ(SACRA MUSIC)
	NGT48	世界の人へ	2018.10.03	ソニー・ミュージックレーベルズ(ソニー・ミュージックレコーズ)
	Kis-My-Ft2	君、僕。	2018.10.03	エイベックス・エンタテインメント
	ジェジュン	Defiance	2018.10.24	First JB music
	モーニング娘。'18	フラリ銀座 / 自由な国だから	2018.10.24	アップフロントワークス(ゼティマ)
	山内 惠介	さらせ冬の嵐	2018.03.28	JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント

アルバム | 邦楽

認定基準	アーティスト	タイトル	リリース日	レーベル
ダブル・プラチナ	Mr.Children	重力と呼吸	2018.10.03	トイズファクトリー
ゴールド	米津玄師	BOOTLEG	2017.11.01	ソニー・ミュージックレーベルズ(ソニー・ミュージックレコーズ)
	Aimer	BEST SELECTION "noir"	2017.05.03	ソニー・ミュージックレーベルズ(SMレコーズ)

ビデオ | 邦楽

認定基準	アーティスト	タイトル	リリース日	レーベル
ゴールド	ジャニーズWEST	ジャニーズWEST LIVE TOUR 2018 WESTival	2018.10.24	ジャニーズ・エンタテインメント
	東方神起	東方神起 LIVE TOUR 2017 ~Begin Again~	2018.03.28	エイベックス・エンタテインメント
	乃木坂46	4th YEAR BIRTHDAY LIVE 2016.8.28-30 JINGU STADIUM	2017.06.28	ソニー・ミュージックレーベルズ(ソニー・ミュージックレコーズ)

※日付けは発売日

有料音楽配信

シングルトラック | 邦楽

認定基準	アーティスト	タイトル	配信開始日	レーベル
プラチナ	藍井 エイル	ラピスラズリ	2015.04.22	ソニー・ミュージックレーベルズ(SACRA MUSIC)
	ハジ→	for YOU。	2013.07.10	ユニバーサル ミュージック
	MISIA	アイノカタチ feat. HIDE (GReeeeEN)	2018.07.31	ソニー・ミュージックレーベルズ(アリオラジャパン)
ゴールド	安室 奈美恵	Don't wanna cry	2006.07.05	エイベックス・エンタテインメント
	エリオをかまっちゃ	Os-宇宙人	2011.04.27	キングレコード
	Dragon Ash	Let yourself go, Let myself go	2006.07.19	JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント
	back number	大不正解	2018.08.22	ユニバーサル ミュージック
	BUMP OF CHICKEN	望遠のマーチ	2018.07.23	トイズファクトリー
	Linked Horizon	心臓を捧げよ!	2017.05.17	ポニーキャニオン
	WANIMA	シグナル	2018.01.17	ワーナーミュージック・ジャパン

※日付けは配信開始日

認定基準一覧 音楽ソフト(アルバム・シングル・音楽ビデオ)、音楽配信(着うた®, シングルトラック・アルバム) 共通

名称	ゴールド	プラチナ	ダブル・プラチナ	トリプル・プラチナ	ミリオン	2ミリオン
基準	10万以上	25万以上	50万以上	75万以上	100万以上	200万以上

基準単位:音楽ソフト・枚、配信、DL(ダウンロード数)

備考 1. 着うた®のみダブル・プラチナ以上を顕彰

2. 「着うた®」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です

3. 3ミリオン以降、100万毎に認定

編集後記

近年は一層話題に事欠かないハロウィーン。2016年にはバレンタイン市場を抜いたとのニュースもあり、すっかりクリスマスに次ぐ一大イベントとなりました。個人的には、「#地味ハロウィーン2018」を追いかけて楽しむのみで終わってしまいましたが、自然発生的に非常に多くの人々が集まり、今やハロウィーンの聖地とも感じられる渋谷駅周辺の様子には毎年驚かされます。

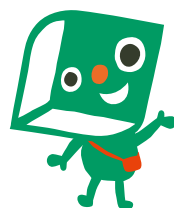
そんなハロウィーン前後の開催となったSHIBUYA MUSIC WEEKでしたが、すべてのプログラムを無事に実施することができました。改めて、ご協力いただいた関係者各位、ご来場いただいたお客様に御礼申し上げます。そうこうしているうちに、ビルのエントランスにはツリーが飾られ、年末の音楽特番ラッシュもはじまり、一気に年末ムードに切り替わりつつあります。皆さまどうぞよいお年をお迎えください。(M)

THE RECORD No.709 2018年12月号

一般社団法人 日本レコード協会 機関誌

発行人 重村 博文
編集人 原 康晴
発行日 2018年12月10日
発行 一般社団法人 日本レコード協会
〒105-0001
東京都港区虎ノ門2-2-5 共同通信会館9階
TEL.03-5575-1301(代) FAX.03-5575-1313
URL:<https://www.riaj.or.jp>

編集協力 株式会社金羊社 / ヤマトカウンシル



エルマークキャラクター
エルマーくん